

鳥取
YEG通信



TOTTORI
YOUNG
ENTREPRENEURS
GROUP

発行：令和7年11月15日
鳥取商工会議所青年部
広報委員会

鳥取商工会議所青年部通信



■令和7年度
会長あいさつ



鳥取商工会議所青年部
会長 民野 泰稔
株式会社 三協商会

晩秋の候、木々の彩りが一段と深まり、澄み渡る空気に冬の足音を感じる季節となりました。皆様におかれましては、日々ますますご健勝にてご活躍のこととお喜び申し上げます。平素より鳥取商工会議所青年部の活動に対し、格別のご理解とご支援を賜り、心より御礼申し上げます。さて、10月には各地域で多くの行事やイベントが開催され、鳥取の街にも活気があふれました。私たち鳥取YEGも地域の一員として、祭りや商工イベントへの参加を通じ、改めて「地域とともに歩む青年経済人」としての責任と喜びを感じる機会となりました。こうした地域のにぎわいは、私たちの活動の原点であり、次代へと受け継ぐべき大切な力であると感じております。

9月23日には、会員交流委員会が担当した「モーニング交流会」が開催されました。普段は夜に顔を合わせる機会が多いYEGメンバーにとっては、この日は朝食をともにしながら語り合う新鮮な交流となり、より深い絆を感じる時間となりました。

続く9月27日・28日には、第26回鳥取三十二万石お城まつりに「鳥取お城委員会」を中心として参画いたしました。初日は時代行列に奴隷として参加し、私自身も初めて殿役を務めさせていただきました。

した。歴史と伝統に触れ、地域に根ざして受け継がれてきた祭りの重みを実感する大変貴重な体験でした。2日目は、YEGブースでスタンブラリーや射的を行い、多くの親子連れでにぎわいました。市民の皆様楽しんでいただく中で、地域への誇りや愛着を育む機会になったのではないかと感じております。

同日には「若桜街道ぶらりさんぽ」に、まち興し委員会を中心に参画いたしました。鳥取市と連携し、まちなかの回遊性向上を目的に、店舗シャッターのライトアップや空き店舗の活用、テイクアウトを中心とした飲食店など、いつもとは違った表情を見せる中心市街地が広がりました。また、とりぎん文化会館前ではライトアップ点灯式とJAZZライブが開催され、新たなまちの魅力が生まれる瞬間に立ち会えたことを嬉しく思います。

さらに10月8日には、対外交流委員会が中心となり「ふるさと創造風会議」を開催しました。中国経済産業局、鳥取市、鳥取商工会議所、中国ブロックYEGの皆様をお招きし、「中小企業の課題」「採用」「人材育成」などをテーマにグループディスカッションを実施。自社や他社の取り組みを共有し合いながら、行政との意見交換を通じて新たな気づきを得る有意義な時間となりました。

鳥取YEGでは、若手経営者や次世代を担う人材が集い、互いに学び合う環境づくりに力を注いでおります。地域の未来を見据え、挑戦する意欲と創意工夫を持ち寄ることで、より豊かで持続可能な地域づくりに貢献してまいります。

季節は冬へと移りますが、心は常に温かく、前を向いて歩んでいきたいと思っております。今後とも、鳥取YEGの活動に変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

10月例会・ふるさと創造風会議 in 鳥取YEG

令和7年10月8日（水）、鳥取商工会議所5階大会議室にて開催いたしました。

当日は、中国経済産業局様、鳥取県庁様、鳥取市役所様、そして中国ブロック各単会（倉吉、米子、津山、出雲など）から総勢26名のご来賓をお迎えいたしました。鳥取YEGメンバー約120名を含め、参加者総数は約150名となり、「ふるさと創造風会議in鳥取YEG」を実施いたしました。

本例会は、地域課題の解決と官民の連携強化を目的に、行政、関係機関、青年経済人が一同に会して対話する場として企画されました。

まず、ご来賓の皆様と鳥取YEGが現在取り組んでいる具体的な事業や施策を紹介しました。鳥取YEGからは、YEG大賞グランプリを受賞した「ビジネスプランコンテスト」など、成果を上げている活動を共有し、地域の未来を形にする決意を示しました。その後、「地域の活性化」をテーマにしたグループディスカッションと発表を行い、具体的な課題解決に向けた熱い議論を交わしました。

官民の枠を超えた真剣な意見交換が行われ、鳥取の未来を切り拓く熱意にあふれる場となりました。参加された皆様の地域への深い想いに触れ、私たちYEGメンバー一同、大変大きな刺激を受けました。

この貴重な対話を契機に、今後も地域行政や関係機関の皆様との連携を一層深め、鳥取の持続的な活性化に貢献できるよう、具体的な取り組みを粘り強く推進してまいります。

対外交流委員会委員長 西根 健太



集合写真



グループディスカッションの様子

第26回
鳥取三十二万石お城まつり

鳥取YEGは9月27日、28日に開催された「第26回鳥取三十二万石お城まつり」に参画しました。長く携わり、歴史を共にしてきた祭りに今年も多くのYEGメンバーが参加し、街のにぎわい創出に向けて活動しました。

27日には時代行列が行われ、YEGは奴隷として参加。YEG精鋭の踊り手が街を練り歩き、鳥取市役所を出発し鳥取駅前広場、きなんせ広場、わらべ館で奴隷を披露しながら鳥取城跡を目指しました。

28日はお城まつり内のブースでスタンブ・クイズラリー、子ども縁日を行いました。スタンブを重ねて押すことで、二ノ丸三階櫓が完成するスタンブラリーや、無料ハンドマッサージなど1,300人を超える来場者が鳥取城跡をスタンブ・クイズラリーで巡ったほか、縁日では子どもたちの長蛇の列がでぎ、大変にぎわいました。

来場者の楽しそうな笑顔はとても印象的で、これが楽しい思い出となり、鳥取城に興味、誇りを持ってもらえることを願うばかりです。イベントにご協力いただいたYEGスタッフは、仲間関係者の皆さま、来場者や観客の皆さまに感謝申し上げます。

鳥取お城委員会 委員長 亀谷 勇斗



時代行列で練り歩く笑顔の民野会長



参加したメンバー

若桜街道ぶらりさんぽ

令和7年9月27日（土）、若桜街道商店街エリアにて「若桜街道ぶらりさんぽ」が開催されました。本フェスタは若桜街道活性化協議会様を中心となり、商店街エリアの魅力化と賑わい創出の取り組みとして、一度限りではない継続的な事業展開を目指して実施されたものです。第一部では、地元高校生や大学生が主体となり商い体験を行う「ヤングマルシェ」のほか、商店街店舗によるテイクアウト商品の販売や、空き店舗を活用したワークショップなど、様々な催しが行われました。続く第二部では、昨年に引き続き「灯りの事業」として、LEM空間工房・長町志穂様プロデュースによるライトアップと点灯式が行われました。とりぎん文化会館前から日赤病院までの区間が明るく照らされ、普段あまり見られない華やかな光の演出に多くの方が魅了されている様子が印象的でした。当会は来場者を対象としたガラボン抽選会を実施し、子どもから大人まで幅広い世代の方にお越しいただき、皆様の笑顔や喜びの声を通じて、まちなかの賑わいづくりに寄与できたことを嬉しく思います。本フェスタ開催にあたり、ご尽力いただいた若桜街道活性化協議会様、鳥取市様をはじめ、各関係団体および関係者の皆様により感謝申し上げます。

まち興し委員会 委員長 荒川 恵介



ガラボン抽選会を運営する会員



ライトアップの点灯式



鳥取YEGでは
鳥取を
盛り上げる方
募集中!!

TEL:0857-32-8004
(鳥取商工会議所青年部事務局)

鳥取YEGは、地域を支える青年経済人の集まりであり、一緒に鳥取を盛り上げていただける方を随時募集しています。次世代を担う立場として、熱意を持って一緒に頑張るませんか?! 鳥取YEGで出会う「縁」を「運」に変えて、企業と地域を活性化させましょう! お気軽にお問い合わせください。

新入会員



北村 龍之介 君
(きたむら りゅうのすけ)
事業所名 ㈱プラスビッツ
所属委員会 会員増強委員会



大田 聡磨 君
(おおた そうま)
事業所名 RIDSOM Auto
所属委員会 政策提言委員会